

栄 さかえ小 ニュースレター

6年生 愛校作業

3月7日（金）の4・5時間目を使って、継志式を間近に控えた6年生が、これまでお世話になった学校への感謝の気持ちを込めて愛校作業を行いました。子供たちは1年間生活した6年生の教室、図工室、音楽室の清掃とワックスがけに取り組みました。

まずは教室の机やイスを廊下に運び出し、ほうきや雑巾を使って床や棚の汚れを丁寧に拭き取りました。その後、ワックスを塗り広げ、光沢のあるきれいな床に仕上げました。普段使っている場所が少しずつきれいになっていく様子を見て、子供たちは「気持ちがいい！」と笑顔を見せていました。

6年間の思い出が詰まった学校に感謝の気持ちを込め、一生懸命に作業する姿がとても印象的でした。6年生が残してくれたびかびかの教室は、これからの在校生に大切に引き継がれていくことでしょう。



今年度の学習も残りわずか

今年度も残りわずかとなり、子供たちはこれまでの学習を振り返りながら、まとめの学習や教科書の残りの単元に取り組んでいます。国語の漢字や算数の計算を復習したり、理科や社会の大切な内容を整理したり、図工では作品の完成に向けて一生懸命に作業を進めたりする姿が見られます。

この一年で、子供たちは本当に大きく成長しました。1年生はひらがなを上手に書けるようになり、タブレット端末も自由に扱えるようになりました。高学年になると、自分の考えをしっかり持ち、友達と意見を交わしながら深く学ぶ姿が見られるようになりました。どの学年の子供たちも、できることが増えたことで、これまでの努力を自信に変え、新しい学年へ向けての期待をふくらませています。引き続き残りの時間を大切にしながら、進級、進学に向けてしっかり支援をしていきたいと思ひます。

